

# 広沢自動車学校の 消費者志向自主宣言（パーカス）取組み



# 会社概要

## 業種

徳島県公安委員会指定自動車教習所

取り扱い車種：普通車・二輪車  
その他：高齢者講習・企業研修・交通安全教室

## 所在地

徳島県徳島市南田宮2-4-3

社員数 45名

(正社員：31名 送迎パート：8名 フロントアルバイト：6名)



あなたに、もうひとつの母校。

# HIROSAWA

## DRIVING SCHOOL





# 自己紹介

## 祖川嗣朗

（株）広沢自動車学校 代表取締役

（株）シンク・スリー 代表取締役

東京で広告代理店を務め2012年より広沢自動車学校の経営に参画。経営改革・販促・マーケティング・チームビルディングを主に務めながら、MBA（経営学修士）、キャリアコンサルティングなどの資格を取得し、新しい業界の在り方を模索している。

# 歴史

1962年 広沢自動車学校創業

2008年 経営理念：広沢母校策定

2010年 全国で最初となる、動画を活用した卒業式を開始

2014年 創業以来初の地域トップシェア獲得。

（徳島県教習所協会調べ 発行年月：2020年12月）（合宿除く、普通車入校）

2018年 （株）シンク・スリー設立

広沢ドローンスクール開校

2019年 プログラミングスクール「ミラプロ」開校

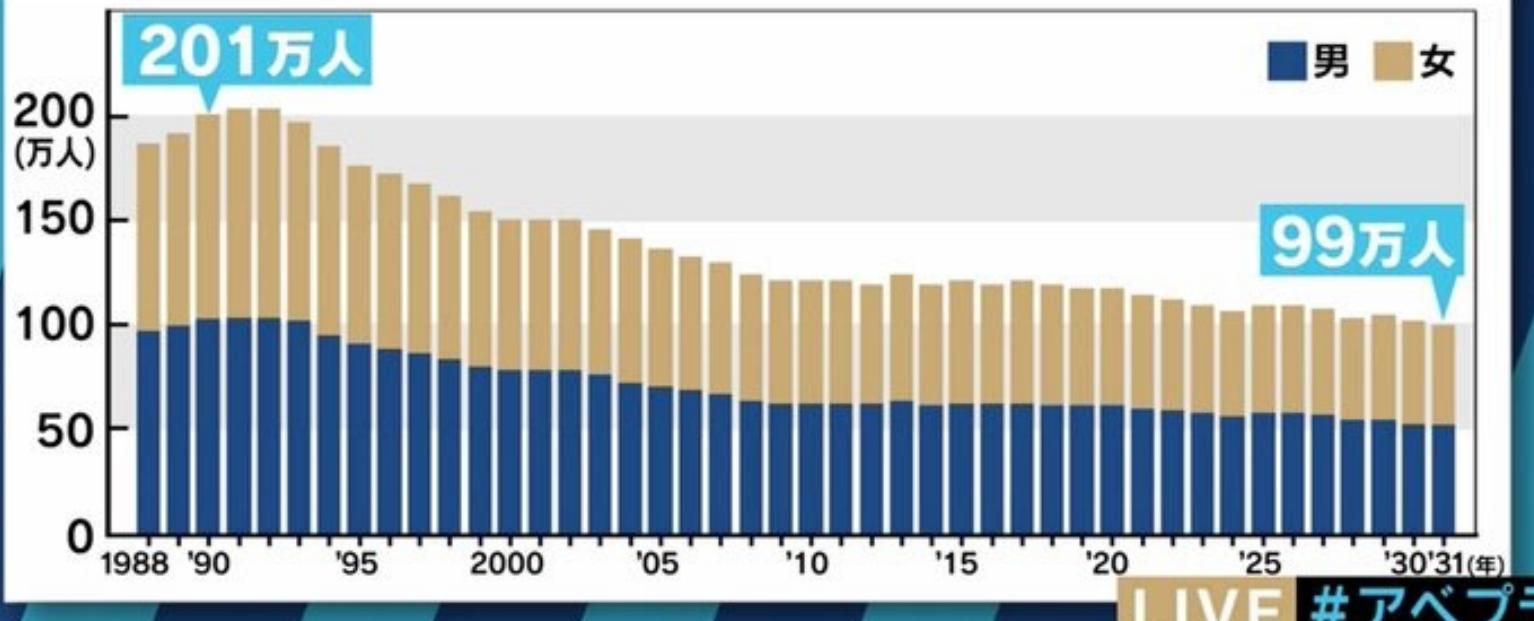
2020年 YouTube「教習所チャンネル」開設

「社内動画クリエイター」開校



私たちのおかれている時代背景

## 18歳人口の推移



出典:abema times

徳島県 18歳人口

2000年

10,240人



2035年

5,467人

新たな価値を創造しなければ、生き残れない

共通価値の創造

共通価値の創造

CSV = Creating Shared Value

サステナビリティ  
(持続可能性)

コンプライアンス



自社の目的はSDGsではなく、  
自社の社会的な存在意義の変革。

それは  
「教育と関わりによって、交通事故をなくす」  
ということ。

SDGsはそのビジョンの達成のために活用しています。

広沢自動車学校の新しい社会的価値は

自動車学校の存在価値を、免許を取得するだけの場所から、  
教育により、交通安全事故を減少させる場所へ。

一過性の場所ではなく、顧客と継続的な関係を築き、

そこへ対して独自のノウハウを提供することにより交通事故を減少させていく。

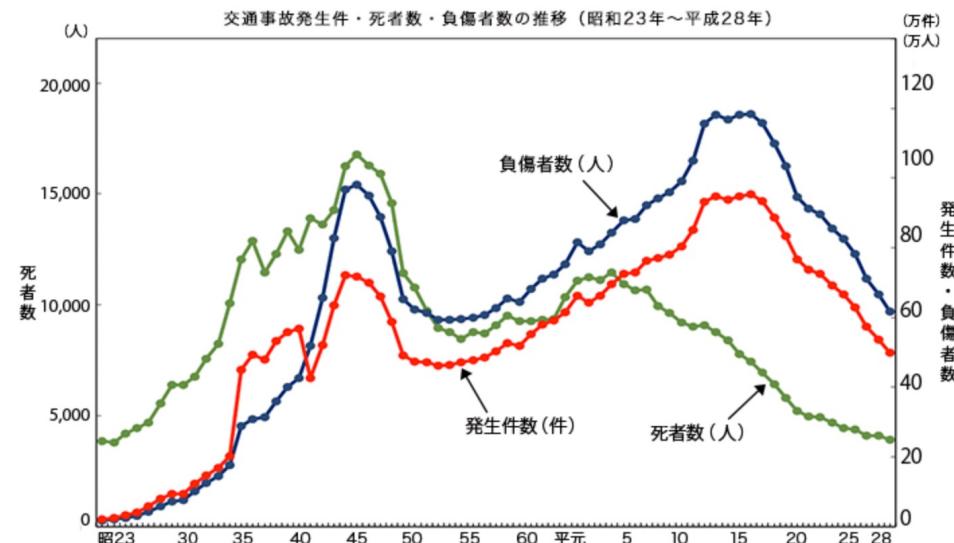
「教育により、交通事故を減少させることができる」という新たな社会的価値の創出。

その社会的な価値を、自社だけではなく、業界全体の新たなスタンダードとしていく。

顧客から見た時に、事故率が大きな選択要素になるようにしていく。

自社のノウハウ・カリキュラムを従来とは違う層（同業者や法人）へと展開していく。

# 自動車学校の存在価値を、免許を取得するだけの場所から、 教育により、交通安全事故を減少させる場所へ。



交通事故は大幅な減少傾向。

ただ、自動車学校がそこに関与しているという認識は少なく、法律の厳罰化や自動車の性能向上によるものだというのが、一般的な認識である。

教育カリキュラムの提供により、交通事故は減少させることができることを社会認知させていくことが必須。

そのために、自分たちが何を、どう提供しているのかを可視化していく必要がある。

交通事故の減少は、世界的な課題でもある。  
技術・法律だけではなく「教育」の力で交通事故を  
減少させることは、大きな社会的価値を持つ。

3 すべての人に  
健康と福祉を



3.6  
2020年までに、  
世界の道路交通事故による  
死傷者数を半減させる。